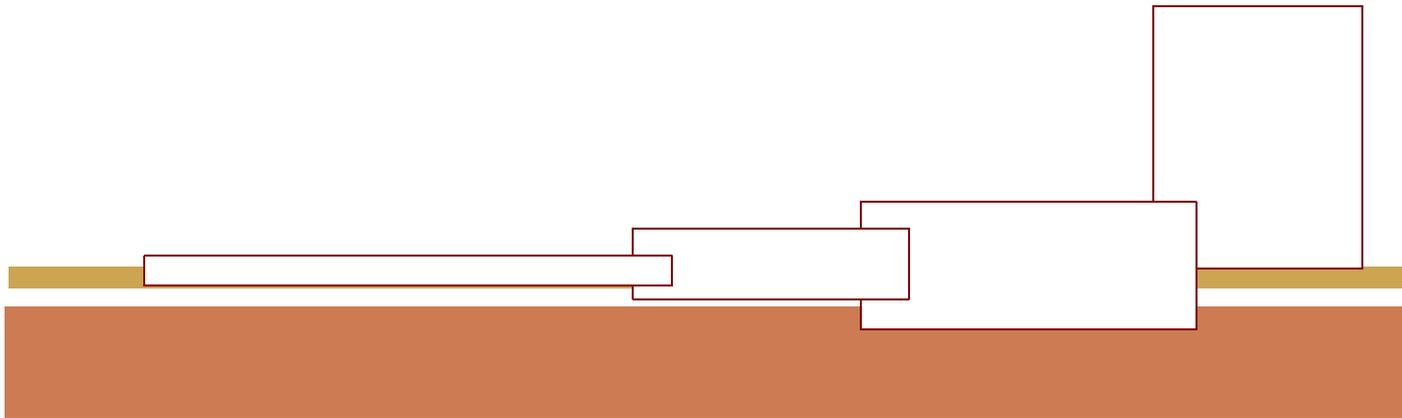


基本的教育と識字率向上を考える

足利東ロータリークラブ
「基本教育と識字率向上月間」に関する
講演会資料

2024年9月17日(火)
12:30～13:30
ニューミヤコホテル

開倫塾 塾長
開倫塾日本語学校理事長・校長
林 明夫



1. はじめに

- (1) 読み書きのできない 15 歳以上の人の数は、世界に約 7 億 5000 万人。これは、世界の成人の 17 %にあたります。
- (2) しかも、学校に通っていない子どもは、世界に 6700 万人いるといわれています。
- (3) 地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高めるよう支援することが、私たちの目標です。



2. <教育の目的>

- (1) 「よく生きること」。
- (2) <よく生きる>とは、
 - ① 「多様な選択肢のある人生を歩むこと」
 - ② 「正常に機能する社会の形成に貢献すること」
- (3) そのためには、ものごとの「深い理解」、つまり、「自分の考えを自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ことが求められます。

3. (1) 「深い理解」「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ためには、「基本的教育の充実」と「識字率の向上」が必要です。

(2) この実現には「3つの教育の充実と連携」が欠かせません。

(3) 「3つの教育」とは

- ① 「学校教育」
- ② 「家庭教育」
- ③ 「社会教育」



4. (1) <学校教育>とは、「学校での教育」です。

① 「初等教育」

- ・ 幼稚園、小学校

○そこで、小学校を「初等教育機関」といいます。

② 「中等教育」

- ・ 「前期中等教育」・・・中学校
- ・ 「後期中等教育」・・・高等学校

○中学、高校を、「中等教育機関」といいます。

③ 「高等教育」

- ・ 大学
- ・ 短期大学
- ・ 専門学校
- ・ 専修学校
- ・ 大学院

○大学などを、「高等教育機関」といいます。



(2) <家庭教育>とは、「家庭での教育」です。

○「家庭教育」の担い手は「保護者」です。

(3) <社会教育>とは、「社会での教育」です。

①「学校教育」「家庭教育」以外の教育を「社会教育」ということもできます。

②「社会教育を行う施設」を「社会教育施設」と呼びます。

③国や自治体が運営する「社会教育施設」には、

- ・公共図書館・市民会館
- ・音楽ホール・ミュージアム・体育館・アリーナ
- ・美術館・博物館・科学館
- ・宿泊体験施設（海の家、山の家）・公園

④民間が運営する「社会教育施団体」には

- ・学習塾、予備校、
- ・習い事（英会話、習字、そろばん、音楽教室、絵画教室、バレエ、日本舞踊、ハワイアン、フラメンコ、コンピューターなど、さまざまな教室）
- ・スポーツジム・スポーツ団体・芸術団体・文化団体

⑤・ロータリークラブ

- ・ライオンズクラブ
- ・キワニスクラブ
- ・ユネスコ協会

等も、「民間教育団体」と考えることができます。

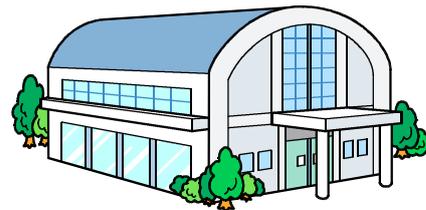
(4) これら3つの教育「学校教育」「家庭教育」「社会教育」の各々が充実し、連携して、はじめて、一人一人が「よく生きる」ための教育が成り立ちます。日本は、これがとてもうまくいっている国の一つ、もっといえば、世界で有数の教育国の一つと確信します。

(5) ①「学校教育」「家庭教育」「社会教育」の一つ一つを充実強化させ、相互作用的に連携、

②「基本的教育の充実」、とりわけ、「識字率の向上」を図ることが求められます。

③自国のみならず、世界の「基本的教育の充実」「識字率向上」を目指すこと。

○各々の教育を担う皆様の資質向上・能力強化(empowerment エンパワーメント)、国や自治体の公的支援、地域社会の理解、そして、何よりも国民の強力な支援が求められます。



5. (1) ①では、どのような分野での「識字率の向上」を図り、
②「深い理解」、つまり、「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ことを目指すべきか。

(2) OECD（経済協力開発機構）が、2000年から3年ごとに実施している「PISA（15歳時の学力国際標準テスト）」では、これまで、3つの分野で「識字能力（リテラシー）」を調査・分析していますので、参考になります。

(3) ①「読解力」

②「科学リテラシー」

③「数学リテラシー」

○2025年からは、これに、

・「英語リテラシー」が加わり、「4つの分野」となります。

（ただし、2025年の「英語リテラシー」PISA調査には、日本は参加しません。2028年は、参加できるよう、国を挙げて、英語力アップを図るべきと考えます。2025年度から英検準級プラスがスタート。大いに、この英検を活用すべきです。）



6. (1) ① PISA 調査の「4つの分野」で「識字能力（リテラシー）」を向上させ、「深い理解」「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」には、どのような「手順（順序）」で、学んだらよいのでしょうか。

②最重要は、「初等教育」「中等教育」「高等教育」など、学校での「授業」です。

③学校での「授業」を最も価値ある、大切なものとして考え、「予習」「授業」「復習」「定着」の好循環を「学習習慣」として、全ての学習者が身に着けることが大切です。

(2) 「授業の前」には、「予習」。「学校教科書」「教材」「学校問題集」等をていねいに「音読」「意味調べ」「計算や問題は解く」。何をこれからの授業で学ぶのかを知り、なぜそのようなことになるのかを考え、理解。「よくわからないことは何かを明確にしてから授業に臨む」ことを「予習の目的」にすることをおすすめします。

(3) 最も大切な「授業中は先生目と口元を見て、しっかりお聞きする」「大切なことは、全部メモ、ノートに取る」

○大切なことをメモできる、ノートに取れることは、高度な言語能力です。

「仕事はメモで身に着ける」といわれます。学校の授業中、ノートを取り、それを活用する能力を身に着ける。

(4) ①授業後は、必ず、「復習」。

②その日の先生の授業を思い出しながら、

③「教科書」や「ノート」を一語一語、ていねいに読む。声を出して読む。

④そして、これはどのようなことか、なぜそうなのかを「理解」する。

⑤「計算や問題」は、全部やり直し、なぜそのような解答になるか、考える。

⑥語句の意味が分からないときは、「辞書」で調べる。

⑦いくら考えてもわからないことは、先生に質問。

- (5) 「復習」が終わったら、「教科書」や「ノート」を、「スラスラよく読めるようになるまで、声を出して読む（音読練習）」。「大切なことは、「暗唱」。
- (6) 「書き順も含め、書き取り練習」。なぜそのような答えになるかがわかった「計算・問題」は、パッパと、条件反射で答えが出るまで、何回でも、「計算・問題練習」。
- (7) 「予習」「授業」「復習」「定着」を、確実にやり「深い理解」「自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ことを目指すべきと考えます。



7. (1) これからの時代はどのような時代になるか。これからの時代に対応するために、以上の4つの「リテラシー」の基底となる、「カギとなるような中核的な能力（キーコンピテンシーズ）」には、どのようなものがあるか。その関係は次の通りです。

(2) ①「知識基盤社会」・・・「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

○ ICTリテラシー

②「グローバル社会」・・・「多様な集団で交流する能力」

○ 英語によるコミュニケーション能力

③「課題山積社会」・・・「自律的に活動する能力」

○ 高い志

(3) 「辞書」「新聞」「読書」「図書館」の活用を！！

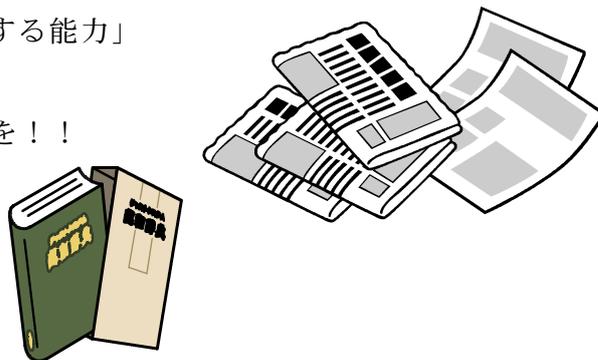
①「辞書教育」

②「新聞教育」

③「読書教育」

④「図書館教育」

○ これらは、「基礎教育」「識字率向上」に直結。



8. <おわりに>・・・「最後に一言」足利の教育の歴史・文化・伝統を見直し、磨き込む。現代の教育的課題にチャレンジする皆様への支援を。

(1) ①足利は、古墳のがたくさんある街。「古墳時代」を代表する街。

②足利は、日本最古の学校「足利学校」のある街。

・ 足利学校の創設者と伝えられる、小野篁（おののたかむら）は奈良時代の代表的文化人。

・ 奈良の大仏殿の勧進を担当した行基は、足利市に3つの寺院を「開山」。

・ 足利は「奈良時代」を代表する街。

③足利は、室町幕府を開いた。足利尊氏の菩提寺、鏝阿寺なある街、足利は「室町時代を代表する街」。

④足利は、徳川家康が儒教を広めるための学問的中心地、足利学校のある街。足利は、江戸時代を代表する学問の街。

・ リーダーシップの最高レベルのテキスト「貞観政要」は、徳川家康が、足利学校に命じ、「改版（印刷）」させたものとして知られています。



- (2) ①足利市の小学校・中学校の英語教育のレベルは、公立学校としては、日本最高レベル。
 ②足利市の小学生の多くは、「論語を暗唱」。足利学校刊「論語抄」を活用。
 ③「あしかが子育て支援ネット」は、全国のベストプラクティス。
 ④足利商工会議所の「足利 5S 学校」は、世界一。
 ⑤こころみ学園と、ココファームワイナリーの取組は、最も高く評価。
 ⑥足利市は、日本で初めて、生涯学習都市宣言した「文化の香り高い学問の街」
 ⑦足利市内の公民館の社会教育プログラムの質は、日本最高レベル。
 ⑧足利東ロータリークラブの活動も国内外で高く評価されています。

(3) 足利には「幸福の青い鳥」がたくさんいます。しっかり磨き込み、「基礎教育」「識字率向上」に役立てましょう。この足利の「教育文化」を、日本各地に、また世界に広め、ご利用いただきましょう。



8. <ご参考まで>…開倫塾のとりくみ

(1) 「開倫ユネスコ協会」

- ① 2001 年設立。「人間の安全保障の推進」が設立の基本理念。
 ②開倫杯ドッジボール大会
 ・栃木県、群馬県、茨城県、福島県で年 1 回ずつ開催、「ファイナル大会」も開催。
 ・各県ドッジボール協会が主管。
 ③ユネスコ世界哲学の日
 ・毎年、11 月第 3 木曜日
 ・今年は、11 月 21 日（木）足利商工会議所渡良瀬ホールで、13 時から記念講演会。

(2) 「開倫塾」

- ①毎年、5 月最終日曜日、「全国模擬授業大会」を開催。2025 年 5 月 27 日（日）白鷗大学足利高校をお借りして、第 18 回「全国模擬授業大会」開催予定。
 ②栃木刑務所に出張授業、高卒認定試験受験指導、塾長は毎年開講式で受講生である受刑者の皆さまに「効果の上がる学習の仕方」を 20 分間、講演。17 年目。
 ③養護施設の子どもたちに、無料指導。（小学生～高校生まで、全額無料）

(3) 「開倫塾日本語学校」

- ①日本語学校では全国唯一「5S 学校」
 ②日本語学校では全国唯一「ユネスコ学校」
 ③日本語が校では全国唯一「クリケットチーム」
 ○ボランティア活動も盛んな日本語学校。



ご清聴頂き、ありがとうございました。

心から感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想あれば、是非、お聞かせください。

